

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は2月3日時点のものです。
最新の情報は主催元をご確認ください。

第4回

新生児生命倫理研究会

日時 3月6日(土) 13時~16時30分

配信

Zoomによるオンライン

セミナー

プログラム 特別講演「医療におけるバスターナリズム」瀬戸山晃一

(京都府立医科大学)／講演①「出生前遺伝学的検査と着床前診断の

ガバナンス」武藤香織(東京大学

医科学研究所)／講演②「子どものいのちをめぐる対話——代理

意思決定について考える」笹月桃子

(西南女学院大学)

対象 医療関係者

参加費 無料

事前参加申込 左記ホームページ

の申込フォームより

申込締切 2月28日(日)

問 新生児生命倫理研究会事務局

03-5800-8659

ncu-office@unin.org

http://ncu.unin.jp/

文化看護学会第13回 学術集会(WEB開催)

日程 3月13日(土)~27日(土)

テーマ 自分と異なる文化への対峙と感受性——他者を理解すること

プログラム 会長講演「文化的視点からみた専門職連携——他職種を理解することは」井出成美

(千葉大学)／教育講演「看護の実践・教育・研究に活かす異文化感受性理論」メーカー亜希子(Nicar-

culturalist LLC)／シンポジウム「医師と看護師の思考過程の違いと文化的交錯(仮題)」／臨床上に

役立つLGBTQsの基礎的知識——1人の当事者医師の語りも

交えて」吉田絵理子(川崎協同病院)／一般演題

参加費 会員7000円、非会員8000円、学生1000円

※3月7日以降に申し込みの場合

参加登録締切 3月24日(水)

参加登録方法 左記URLの「参

加申し込み」フォームより

問 事務局

〒260-8672

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院看護学研究科内

office@bunkai3.jp

https://bunkai3.jp/

第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(WEB開催)

日程 「ライブ配信」3月20日(土・祝)~21日(日)、「オンデマンド配信」3月20日(土・祝)~4月30日(金)

テーマ エビデンス構築と多職種

協働の推進

プログラム 理事長講演「学会設立から10年間を振り返り」上月正博(東北大学)／会長講演「1本の

腎尿管から腎臓リハビリテーションへ」伊藤修(東北医科薬科大学)／特別講演①「エリートス

ポーツから学ぶこと」永富良一(東北大学)／②「腎疾患患者の身体

活動をどう高めるか——社会疫学の視点から」井上茂(東京医科大学)／特別企画①「Withコロナ」Afterコロナ時代の腎

疾患・リハビリテーション診療——西園晃(大分大学)ほか／②「腎臓リハビリテーションのエビデ

ンス構築——次期ガイドラインの更新を見据え」小崎恵生(筑波大学)ほか

若手活性化関連企画「若手からの腎臓リハビリテーション(学会)への提言」川田真宏(虎の門病

院)ほか／シンポジウム①「CKDと運動療法——臨床実践」平木

幸治(聖マリアンナ医科大学病院)ほか／②「腎臓リハビリテーショ

ンガイドラインの検証と今後」星野純(虎の門病院)ほか／③「腎

疾患の病態とサルコペニア発症機序」佐藤恵美子(東北大学)／④「施設規模に応じた透析患者のリハビ

リテーション療法の現状と課題」渋谷佑子(NTT東日本関東病院)

／⑤「CKD・透析患者の身体機能・活動量の標準的評価指標」山

越聖子(東北医科薬科大学)／⑥「多職種協働の推進における療

士と栄養士の役割」松永智仁(永仁会病院)／⑦「多職種協働によ

る腎臓リハビリテーション」杉山瞬(日高リハビリテーション病院)

／⑧「With COVID-19時代の在宅・オンライントレーニング」岡田志麻(立命館大学)／⑨

「腎臓リハビリテーションとしての腹膜透析」石田真理(東海大学医学部付属八王子病院)／ジョイ

ントシンポジウム①「腎臓病の克服とQOLの向上を目指して——腎臓リハビリテーションの役割」杉山齊(岡山大学)／②「フ

レイル合併腎疾患患者のリハビリテーションを考える」上月正博(東北大学)／③「CKD患者にお

けるフレイル対策とその効果」柴垣有吾(聖マリアンナ医科大学)

／④「透析生活と運動」鈴木史子(みはま病院)／⑤「With corona時代の腎臓リハビリテー

ションとフットケア」深水圭(久

ンガイドラインの検証と今後」星野純(虎の門病院)ほか／③「腎疾患の病態とサルコペニア発症機序」佐藤恵美子(東北大学)／④「施設規模に応じた透析患者のリハビリテーション療法の現状と課題」渋谷佑子(NTT東日本関東病院)／⑤「CKD・透析患者の身体機能・活動量の標準的評価指標」山越聖子(東北医科薬科大学)／⑥「多職種協働の推進における療士と栄養士の役割」松永智仁(永仁会病院)／⑦「多職種協働による腎臓リハビリテーション」杉山瞬(日高リハビリテーション病院)／⑧「With COVID-19時代の在宅・オンライントレーニング」岡田志麻(立命館大学)／⑨「腎臓リハビリテーションとしての腹膜透析」石田真理(東海大学医学部付属八王子病院)／ジョイントシンポジウム①「腎臓病の克服とQOLの向上を目指して——腎臓リハビリテーションの役割」杉山齊(岡山大学)／②「フレイル合併腎疾患患者のリハビリテーションを考える」上月正博(東北大学)／③「CKD患者におけるフレイル対策とその効果」柴垣有吾(聖マリアンナ医科大学)／④「透析生活と運動」鈴木史子(みはま病院)／⑤「With corona時代の腎臓リハビリテーションとフットケア」深水圭(久

留米大学)／⑥「小児腎不全患者と腎移植患者のリハビリテーション」／幡谷浩史(東京都立小児総合医療センター)／国際腎臓リハビリテーション学会ミニシンポジウム／教育講演／よくわかるシリーズ

※プログラムは変更の可能性あり

関 運営事務局

〒980-0824

宮城県仙台市青葉区支倉町4-34
丸金ビル6階 日本コンベンションサービス東北支社内

☎022-722-1311

FAX 022-722-1178

✉t1sr@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/t1sr/index.html>

日本看護倫理学会 第14回年次大会 (WEB開催)

日時 5月29日(土)～5月30日(日)

テーマ ケアの倫理を教える・学ぶ・実践する

プログラム 大会長講演「ケアの倫理：対話のプラットフォームから共鳴する看護実践の価値」八尋道子(佐久大学)／基調講演「尊厳を高める看護ケア：ケアの倫理のアプローチ」クリス・ガストマン(ルーヴェン・カトリック大学、ベルギー)／教育講演①「認知症高齢者の意思のとらえ方」堀内ふき(佐久大学学長)／②「よりよく生きるためのACP」鶴若麻理(聖路加国際大学)／③「care-ethicsの語源とその本質」江藤裕之(東

北大学大学院)／シンポジウム「倫理的行動を促進する看護倫理教育の実践と評価の視点」福島智子(昭和大学病院)、ほか／市民公開講座「幸せな死とは何だろうか」宮下洋一(ジャーナリスト)、ほか
事前参加登録 4月26日(月)までの予定

関 運営事務局

〒135-0063

東京都江東区有明3-6-11
TFTビル東館9階

プロコムインターナショナル内

☎03-5520-8821

✉inea14th@procom-jp

<https://procom.jp/inea2021/index.html>

日本小児看護学会 第31回学術集会 (WEB配信)

日程 「ライブ配信」6月26日(土)～27日(日)、「オンデマンド配信」7月1日(木)～18日(日)

テーマ コラボレーションで小児看護の未来を拓く

プログラム 会長講演「臨床と教育とのコラボレーション」小児専門病院の実践へのセルフケア理論の導入と活用」添田啓子(埼玉県立大学)／特別講演「みんなと地域でイノベーション」医療的ケア児・家族の笑顔のために」黒木健太(フローレンス)／教育講演「臨床からの発信を研究に——事例研究で看護がつながる」山本則子(東京大学)／シンポジウム「子どもの『生きる』を支えるケア——新しい発想での多職種・他分野とのコラボレーション」松岡真里(京都大学)、小澤竹俊めぐみ(在宅クリニック)、久保田一男・鈴美(難病患者を支援する会)、松下博宜(東京情報大学)／テーマセッション／一般演題発表など

※詳細は左記の学術集会ホームページ参照

<https://www.jschn31.jp>

参加登録締切 5月25日(火)

参加者 1600名(予定)

関 運営事務局

〒261-8550

千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

募張メッセ・事業企画課内

☎043-296-0623

FAX 043-296-0529

✉info@jschn31.jp

<https://www.jschn31.jp/index.html>